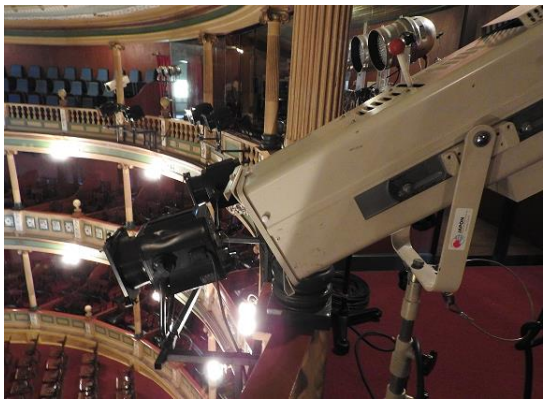
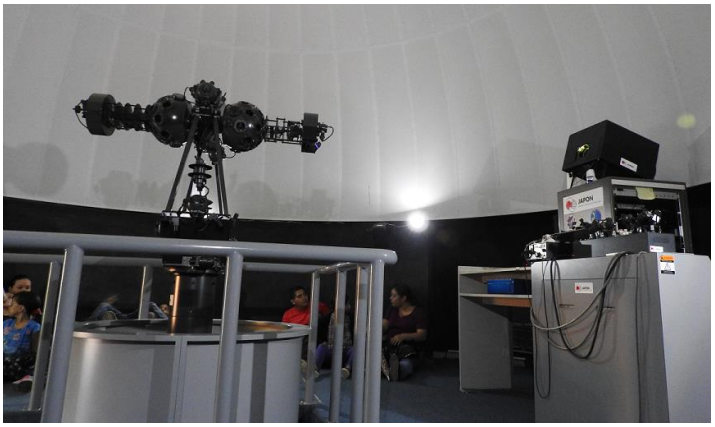
# 文化・芸術

エルサルバドルの三大都市（首都圏のサンサルバドル市、東部のサンミゲル市、西部のサンタアナ市）で劇場に出かけると、日本の支援により整備された音響・照明設備の中、コンサートなどを楽しむことができます。

日本はこれまで、**サンサルバドル国立劇場**（１９９１年、２００７年）、**サンタアナ国立劇場**（１９９７年）、**プレデンテ劇場**（１９９９年）、**フランシスコ・ガビディア・サンミゲル国立劇場**（２００６年）に音響・照明機材の供与を行ってきました。また、世界銀行の日本基金を通じ、**ドン・ボスコ青少年交響楽団**に対し、楽器購入や研修のための援助も実施しています（２０１０年）。



２０１７年６月の「TAIKOPROJECT」による和太鼓公演前のサンタアナ国立劇場（クリック）。
この劇場には眞子内親王殿下もご訪問されました（クリック）。



サンサルバドル市にある博物館でも、日本からの供与機材を見ることができます。日本は、**国立ダビッド・J・グスマン人類学博物館**への音響機材供与（２０００年）や、**ティン・マリン子供博物館**のプラネタリウム整備（２００５年）などを実施しています。

ティン・マリン子供博物館のプラネタリウム

２０１５年１２月、日・エルサルバドル外交関係樹立８０周年の機会に、眞子内親王殿下は世界的に有名な画家**フェルナンド・ジョルト**氏にサンサルバドル市内のギャラリーをご訪問され、同氏と一緒に絵付け体験をされました。ジョルト氏は北部地域のラ・パルマ市にアトリエを構え、画家としての活動を始めましたが、青年海外協力隊員の協力のもと、現在、そのアトリエにおいて絵付け体験などを含むツアーに参加することができます。

観光ツアーにおける
絵付け体験の取材の様子（クリック）